

Windows® 10.1インチタブレット型PC



取扱説明書

この度は、本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
正しくご使用して頂くために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み頂き、機能を十分にいかして正しくご愛用ください。お読みになった後は大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにお役立てください。

- ※本書の内容を無断で転載や複写をしないでください。
- ※記載の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- ※本書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- ※当社では常に製品の品質の改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差があるものがございますがご了承ください。
- ※本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。
- ※記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

目次

はじめに	3
------	---

セット内容	3
-------	---

安全上のご注意	4
---------	---

使用上のご注意	13
---------	----

各部名称	15
------	----

充電する	18
------	----

電源操作	19
------	----

セットアップ	20
--------	----

基本操作	21
------	----

スタート	21
------	----

アプリを開く	23
--------	----

アプリを閉じる	23
---------	----

アプリの操作	24
--------	----

アプリの切り替え	25
----------	----

アプリの分割表示	26
----------	----

Cortanaを利用する	27
--------------	----

アクションセンター	28
-----------	----

使用方法	29
------	----

ネットワーク接続	29
----------	----

バッテリー節約	29
---------	----

ボリュームの調整	30
----------	----

キーボードを使う	31
----------	----

タッチパッドを使う	32
-----------	----

スクリーンキーボードを表示	33
---------------	----

設定	34
----	----

設定画面を開く	34
---------	----

システム	35
------	----

デバイス	37
------	----

ネットワークとインターネット	38
----------------	----

個人用設定	39
-------	----

アカウント	40
-------	----

時刻と言語	41
-------	----

簡単操作	42
------	----

プライバシー	43
--------	----

更新とセキュリティ	45
-----------	----

コントロールパネル	47
外部機器との接続	48
USBポートに接続する	48
microHDMI端子に接続する	49
音声出力端子に接続する	50
microSDメモリーカードスロットを 使う	51
メモリ、ファイル管理	52
ディスク領域の確認	52
その他のメモリオプション	52
ファイルとフォルダー	53
外部メモリを使ってファイルを 追加する	53
アプリを使う	54
カメラを使う	54
主な組み込みアプリ	55
トラブルシューティング	56
主な仕様	58

アフターサービス	60
-----------------	-----------

保証規定	62
-------------	-----------

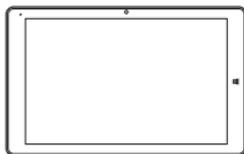
修理規定	66
-------------	-----------

セット内容

本製品のパッケージ内には以下のセット内容が含まれます。ご確認ください。

※イラストと実際の形状は、変更になったり、若干異なる場合があります。

本体



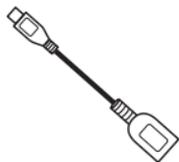
キーボード



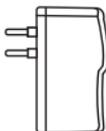
専用電源用USBケーブル



USB変換ケーブル



専用ACアダプター



取扱説明書



保証書



次の警告表示は、注意事項を守らなかった場合におこりうる事故の程度を表します。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されるもの



注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるもの、または物的損害(※3)の発生が想定されるもの

- ※1: 重傷とは、失明やケガ、火傷(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期にわたる通院を要するものを指します。
※2: 傷害とは、治療に入院や長期にわたる通院を要さないケガや火傷、感電などを指します。
※3: 物的損害とは、家屋、家財、および家畜やペットなどにかかわる拡大損害を指します。

次の記号は、その注意事項の内容を表します。



禁止(してはいけないこと)を表します。

具体的な内容については、記号の中、もしくは付近にイラストや文章にて表します。



指示する行為の強制(必ずしなければならないこと)を表します。

具体的な内容については、記号の中、もしくは付近にイラストや文章にて表します。



注意(警告含む)を表します。

具体的な内容については、記号の中、もしくは付近にイラストや文章にて表します。



警告

■ 異常や故障したとき



指示

- 煙が出たり、変なにおいがする場合は、すぐにAC電源アダプター、もしくはUSBケーブルの接続を解除してください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。
- 内部に水や異物が入ってしまった場合は、すぐにAC電源アダプター、もしくはUSBケーブルの接続を解除してください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。
- 本体を落としたり、破損した場合は、すぐにAC電源アダプター、もしくはUSBケーブルの接続を解除してください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。
- コードが傷んだり、AC電源アダプターが異常に熱くなった場合は、すぐに本体の電源をオフにし、接続を解除してください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

上記の問題が発生した場合は、AC電源アダプターやUSBケーブルを取り外した後、サポートセンターにご連絡ください。



警告

■ ご使用になるとき



禁止

- 本体内部に水が入ったり、濡れたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。感電や回路のショートなどによる火災や故障の原因となります。



指示

- 静電気の発生しやすい場所で使用する場合は十分注意してください。本製品の故障や感電、火災の発生するおそれがあります。静電気防止マットなどを使用して静電気の発生を防ぐ措置をとるか、静電気の発生しやすい場所への設置を避けてください。



禁止

- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。本体が落下してケガの原因となります。



上乗せ禁止

- 上に物を置かないでください。金属類や、花瓶、コップ、化粧品などの液体が入った場合、火災や感電の原因となります。重い物などが置かれて落下した場合、ケガの原因となります。



分解禁止

- 修理、改造、分解をしないでください。火災や感電の原因となります。点検や調整、修理はサポートセンターにご依頼ください。



異物挿入禁止

- 本体内部に異物を入れたり、端子部に接触させないでください。金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入ったり、端子部に接触した場合、火災や感電などの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、本製品には一切触れないでください。感電の原因となります。



注意

■ ご使用になるとき



電源プラグを抜く

- 旅行などで長期間ご使用にならない場合は、安全のためAC電源アダプターをコンセントから抜いてください。万一故障してしまった場合、火災の原因となることがあります。



禁止

- 濡れた手でAC電源アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 本製品から異音が出た際は使用を中止してください。聴力に悪い影響を与えるおそれや、本製品の故障の原因となるおそれがあります。
- 音量を上げすぎないようにご注意ください。大きな音量で長時間続けて音声を聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- ご使用になるとき本製品やコードなどを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災や感電などの原因になることがあります。
- 本製品の上に物を載せたり、本来の目的以外に使用しないでください。ケガや故障の原因になります。
- 本製品に衝撃を与えないでください。本製品の故障の原因となるおそれがあります。
- 本製品を無理な体勢で取り扱ったり、落下して本製品が故障するおそれがあるほか、ケガなどの原因となるおそれがあります。



注意

- 他の電気機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどの機器がある場合、雑音が入ることがあります。
- その場合は下記のように対処してください。
他の電気機器からできるだけ離してください。
テレビやラジオ機器などのアンテナの向きを変えてください。
- 本製品をお手入れする場合には接続しているものを全て取り外し、電源をオフにしてから行ってください。
- 梱包で使用しているビニール袋は乳幼児の手の届く所に置かないでください。鼻や口をふさいで窒息したり、けがの原因となることがあります。



注意

■ 保管されるとき



禁止

- 温度の高い場所に置かないでください。
直射日光の当たる場所やストーブのそばなどに置くと、火災などの原因となります。また、部品の劣化や破損の原因となります。
- 高温多湿の環境や、油煙、ホコリの多い場所に置かないでください。
本製品の故障や、感電や火災の発生するおそれがあります。
- 換気の悪い場所に置かないでください。熱がこもり、本製品の変形や故障、火災の発生するおそれがあります。
押し入れや箱の中など、風通しの悪い場所に入れたままにしないでください。
テーブルクロスやカーテンなどを掛けたりしないでください。
じゅうたんやふとんの上に置かないでください。

■ 本体の取り扱いについて



禁止

- 自動車やバイク、自転車などの運転中や歩行中は本製品を使用しないでください。交通事故の原因となります。



指示

- 心臓の弱い方は、音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。
- 本製品を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがありますので注意してください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となることがあります。



指示

- 皮膚に異状が生じた場合は直ちに使用をやめ、医師の診断を受けてください。体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などの原因となることがあります。
- 本製品を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがありますので注意してください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となることがあります。
- 本製品に磁気を帯びたものを近づけないでください。強い磁気を近づけると誤作動の原因となります。
- 磁気カードなどを本製品に近づけないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- 引っ越しなどで遠くへ運ぶ場合は、傷がつかないように本製品の外装箱などをご使用ください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 普段使用しない時は、必ず電源をオフにしておいてください。
- 長時間使用しない場合は、機能に支障をきたす場合がありますので、時々電源をオンにして使用してください。

■ ディスプレイについて



警告



禁止

- ディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
- タッチパネルの表面を強く押ししたり、爪やボールペン、ピンなど先のとがったもので操作しないでください。タッチパネルが破損する原因となります。



注意



禁止

- ディスプレイの表面にある、強化ガラスパネルを無理にはがしたり傷つけたりしないでください。ディスプレイが破損したときに破片が飛散し、けがの原因となることがあります。
- 爪先でタッチパネル操作をしないでください。爪が割れたり、突き指など、けがの原因となることがあります。



指示

- 健康のために、以下のことを守ってください。体調に悪影響を及ぼす原因となることがあります。
 - ・連続して使用する場合は、1時間ごとに10分～15分の休憩を取り、目を休めてください。
 - ・新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。（操作場所の明るさの目安：500ルクス）
 - ・画面からある程度の距離をとって使用してください。
 - ・明暗の差の大きい所では使用しないでください。
 - ・日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。
 - ・本製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診断を受けてください。
 - ・お使いになる方によっては、ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合があります。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診断を受けてください。

■ 充電池について



指示

- 本製品を火中や水中に投入したり、加熱したりしないでください。内蔵充電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により、大ケガや火災の原因になります。
- 充電を行う際は、必ず本製品付属のAC電源アダプターを使用するか、USBケーブルでパソコンと接続して充電してください。それ以外の方法や、別のAC電源アダプターなどをご使用になると、内蔵充電池の液漏れ、発熱、発火、破裂により、大ケガや火災の原因になります。



禁止

- 本製品を車の空調吹き出し口などの温度、湿度が特に高い場所、直射日光が当たる場所には放置しないでください。特に夏の車内は非常に高温になる場合がありますのでご注意ください。充電池の液漏れ、発熱、破裂、感電、故障の原因となります。また本体の変形や故障の原因にもなります。
- 充電池が液漏れしたり、変色、変形その他の異常があった場合は、直ちに使用を中止してください。
- 充電池の充電が所定充電時間を超えても完了しない場合は、充電を中止してください。
- 本製品を乱暴に扱ったり、強い衝撃を与えないでください。
以上は、充電池の液漏れ・発熱・発火・破裂の原因となり、大ケガや火災の原因になります。
- 充電池から漏れた液体が皮膚や服についた場合は、すぐに水で洗浄してください。万一、液体が目に入ってしまった場合には、すぐに大量の水で洗浄し、直ちに医師に相談してください。
- 万一、製品が異常に熱くなる、異臭や煙が出た場合や、機器の内部に異物や水などが入ってしまった場合は、直ちに使用を中止してください。使用を中止しないと、火災や感電の原因となります。使用中止後、弊社サポートセンターにお問い合わせください。
- 湿気、ほこり、振動の多い場所や、テレビ、ラジオの近くでは充電を行わないでください。故障の原因となります。

■ USBケーブルについて



禁止

- USBケーブルは誤った使い方をしないでください。以下は火災や感電の原因となります。ケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。ケーブルを結んだり、束ねたりしないでください。ケーブルの上に重い物をのせないでください。
- USBケーブルを抜き差しするときは、金属製のストラップなどの金属類を接触させないでください。火災や感電の原因となります。
- USBケーブルを抜くときは、ケーブルを無理に引っ張らないでください。ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。



指示

- 端子に付いたほごりは、乾いた布で拭きとってください。火災や感電の原因となります。
- お手入れのときや長期間使用しないときは、USBケーブルを抜いてください。火災や感電の原因となります。
- 端子がうまく差し込めないときは、端子の形や向きを確認してから差し込んでください。無理に差し込むと故障や破損の原因となります。
- USBケーブルは、パソコンのUSB端子に直接接続してください。市販のUSBハブなどを使って接続すると、正しく動作しない原因となります。
- USBケーブルを接続して本機をご利用になる場合は、端子部に負荷をかけないように注意してください。

■ AC電源アダプターについて



禁止

- AC電源アダプターは誤った使い方をしないでください。以下は火災や感電の原因となります。
コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
AC電源アダプターにコードを巻きつけたり、結んだり、束ねたりしないでください。
コードの上に重い物をのせないでください。
- 使用中や充電中に雷が鳴り出したら、AC電源アダプターに触れないでください。火災や感電の原因となります。
- コンセントにつながれた状態で端子をショートさせないでください。火災や感電の原因となります。
- コンセントにAC電源アダプターを抜き差しするときは、金属製のストラップなどの金属類を接触させないでください。火災や感電の原因となります。
- 電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- AC電源アダプターをコンセントから抜くときは、コードを無理に引っ張らないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因となります。
- お手入れのときや長期間使用しないときは、AC電源アダプターをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。
- 水などの液体が入った場合は、直ちにAC電源アダプターをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因となります。
- タコ足配線をしないでください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。



指示

- AC電源アダプターは家庭用交流100Vのコンセントに接続してください。交流100V以外を使用すると、火災や感電の原因となります。
- AC電源アダプターをコンセントから抜く前に、必ず本体の電源をオフにしてください。
- 本製品付属のAC電源アダプターは、本製品専用です。他の製品に使用しないでください。また、本製品付属のAC電源アダプター以外のAC電源アダプターは使用しないでください。
- 電源プラグに付いたほごりは、乾いた布で拭きとってください。そのままにしておくと、火災・感電の原因となります。
- 電源プラグは、根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、ほごりが付着して火災や感電の原因となります。
- AC電源アダプターを接続して本機をご利用になる場合は、端子部に負荷をかけないように注意してください。

■ 電波法/電気通信事業法に関するご注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。
- 本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技術マーク」が本端末のシールに表示されております。
- 本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効になった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

■ 電波干渉に関するご注意

- 本製品の使用する周波数帯では電子レンジ等の産業、科学、医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局などが運用されています。
- 本製品の使用前には、近くに上記に該当する「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万が一、本製品と上記に該当する他の無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または本製品の使用を停止してください。

■ 電波障害に関するご注意

- 本製品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビに近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 正しく取り扱っても、電波の状況によりラジオ、テレビの受信に影響を及ぼすことがあります。そのような場合は、以下にご注意ください。
本製品をラジオ、テレビから十分に離してください。
使用するケーブルは付属のものを使用してください。

■ お手入れに関して

- 本体の汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどい場合は、布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジンやシンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

■ 結露(露付き)に関して

- 結露は本製品を傷めます。下記をよくお読みください。
- 結露は以下の状況などでよく生じます。
本製品を寒いところから、急に暖かいところへ移動した時。
暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなど冷風が直接あたる場所で使用した時。
夏季に、冷房のきいた部屋、車内などから急に温度、湿度の高いところへ移動して使用した時。
湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用した時。
※ 結露が生じそうな場合は、本製品をすぐにご使用にならないでください。
- 結露が生じた状態で本製品を使用すると、本体を傷めることがあります。本製品のAC電源アダプターをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと本製品が温まるので、2～3時間程度で水滴をとります。または、コンセントに接続しておくこと結露が生じにくくなります。

■ 日本国内専用

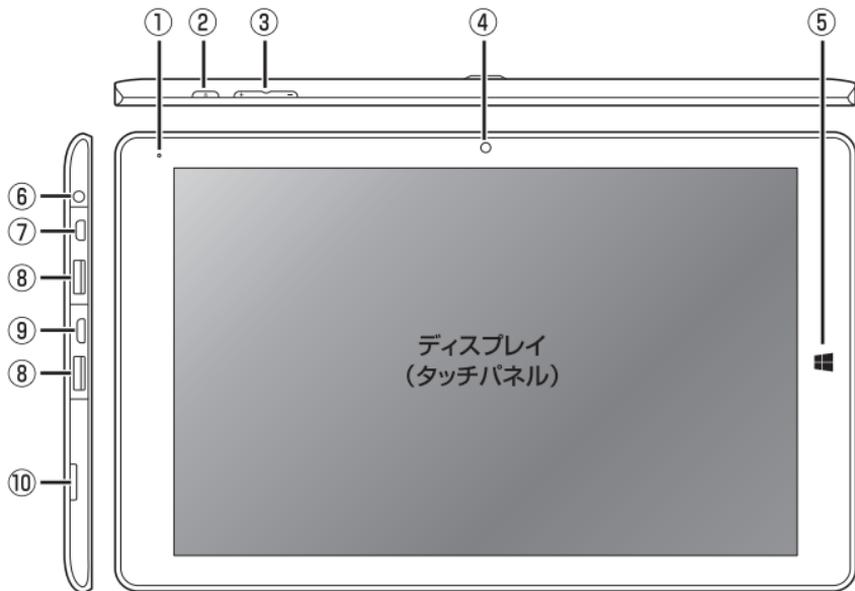
- 本製品の使用は日本国内のみとなります。海外では電源電圧等が異なりますのでご使用になれません。

■ 青少年によるネット上の有害サイトへのアクセス制限について

- インターネットのフィルタリングとは、インターネット上の有害なサイトを青少年に見せないようにするための技術です。フィルタリングは、100%万全ではありませんが、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、多くの有害な情報へのアクセスを自動的に制限することができる有効な手段です。本製品では、有害情報へのアクセス制限機能を有するソフトウェアは提供していませんので、18歳未満の青少年が利用される場合は、インターネットサービスプロバイダーなどなどの提供するフィルタリングサービスをご利用ください。詳しくはご契約のプロバイダーへお問い合わせください。

各部名称

本体正面側



① 充電インジケータ
充電中は赤色で点滅します。

② 電源ボタン

③ 音量調節ボタン
「+」側を押してボリュームアップ
「-」側を押してボリュームダウンします。

④ カメラ(前面)

⑤ Windowsボタン
スタート画面に移動します。

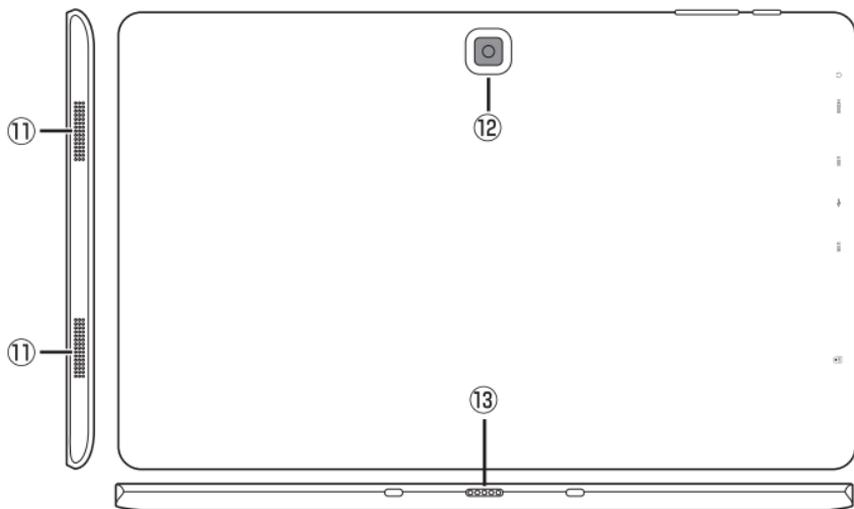
⑥ 音声出力端子
ヘッドフォンやイヤホン(市販品)を接続します。

⑦ microHDMI出力端子
microHDMIケーブル(市販品)を接続して外部映像機器に画面を大きく表示します。

⑧ USBポートx2
⑨ microUSBポート
USBケーブルを外部機器に接続して利用したり、充電する場合には使用します。

⑩ microSDメモリーカードスロット
microSDメモリーカード(市販品)をセットし、写真や音楽などのデータを保存したり、再生ができます。

本体背面側



⑪ 内蔵スピーカー

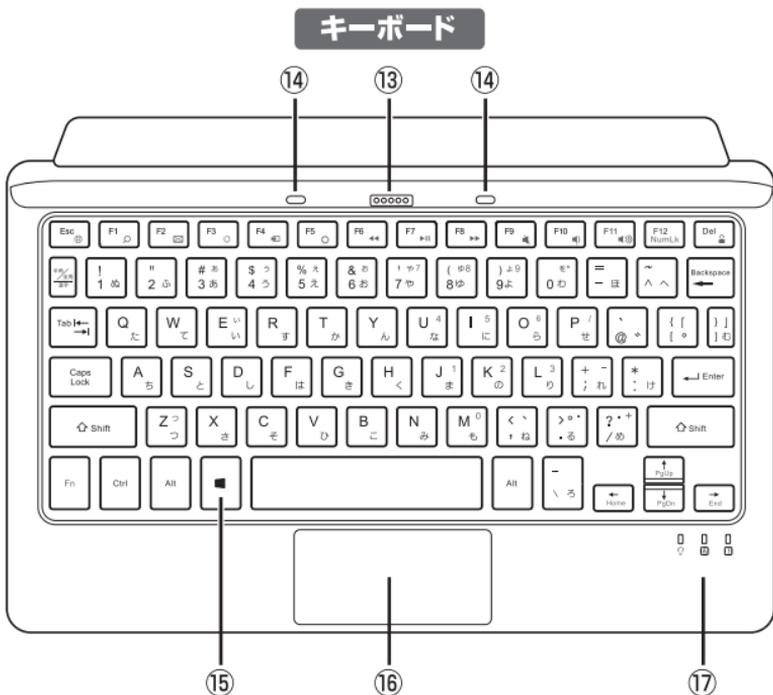
⑫ カメラ(背面)

⑬ キーボード接合部

図のように、本体の底面をキーボードの溝の部分に置くようにするとマグネットが吸い付くようにセットされます。接続端子部分は直接手を触れないようにしてください。



各部名称



13 キーボード接合部

本体とキーボードをドッキングするコネクタです。

14 ガイドピン

15 Windowsボタン

16 タッチパッド

指でマウスのように使用できます。タップしたりドラッグして各操作を行ないます。

17 インジケーター

電源、キャプスロック、ナムロックの使用状態を点灯で知らせます。

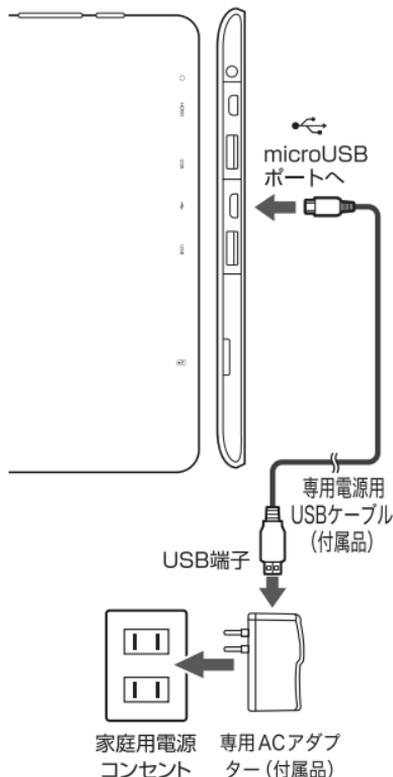
充電する

はじめに、十分に充電してから使い始めてください。

充電する

- ① 付属の専用 AC アダプターに専用 USB ケーブルの USB 端子側を差し込み、電源コンセント、または OA タップに差し込みます。
- ② 本体が電源オフの状態、側面のカバーを開けてmicroUSBポートに、もう片方の小さい端子を差し込みます。
- ③ 充電中は本体正面左上の「充電インジケータ」が赤色に点滅します。充電されると点滅が消えます。充電完了後は、ケーブルを抜いてください。

※ 充電中の使用はバッテリーの発熱や寿命を縮める要因になる場合があります。



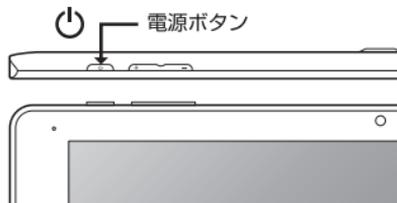
電源操作

電源のオン、オフ、スリープ、および再起動

【電源オン】

電源ボタンを数秒押し続けて離します。

※何も起こらない場合は、充電が必要な可能性があります。電源アダプターを接続してもう一度電源ボタンを押します。



【スリープ】

電源ボタンを短く押し続けて離します。

または、スタートメニューの「電源」を選択して、「スリープ」を選択します。

▼スタートメニューは「Windows ボタン」を押すと表示されます。

【スリープの解除】

電源ボタンを短く押し続けて離します。または、キーボードのいずれかのボタンを押します。

※ロック画面が表示されたら下端から上にスワイプします。

※スリープの時間が長いとパスワードの入力を求められる場合がありますので、サインインしてください。

【シャットダウン(電源オフ)】

スタートメニューの「電源」を選択して「シャットダウン」を選択します。



【再起動】

スタートメニューの「電源」を選択して「再起動」を選択します。

セットアップ

セットアップ

Windows初期設定でアカウントを作成する必要があります。本説明書では「ローカルアカウント」を例に手順を説明します。アカウントはセットアップ完了後にMicrosoftアカウントに切り替えることができます。

- ① 電源を入れてしばらくすると「こんにちは」の画面が表示されます。内容を確認して「次へ」を選択します。
- ② 「これは法的文書です」の画面が表示されるので内容を確認して「承諾する」を選択します。
- ③ 「接続する」の画面が表示された場合は、「この手順をスキップする」を選択して次に進みます。
- ④ 「すぐに使い始めることができます」の画面で、「簡単設定を使う」を選択します。
- ⑤ 「このPC用のアカウントの作成」と表示されるので、ユーザー名とパスワード(任意)を入力して「次へ」を選択します。

本製品の準備をしている画面が表示されるので電源を切らずにしばらくお待ちください。準備が完了すると、Windows画面が表示されます。

セットアップ時に「Microsoftアカウント」を作成する場合は、インターネットに接続されていることが必要です。

- ※ 上の③「接続する」の画面で、Wi-Fi接続設定を実行してから、セットアップを進めます。接続の設定情報をご用意ください。
- ※ 表示される画面の指示に従って、入力・選択を進めます。
- ※ 「自分用にセットアップする」の画面で、すでにMicrosoftアカウントをお持ちの方と、新規に作成する方で手順が異なりますのでご注意ください。

基本操作

スタート

スタートボタンをクリックするとスタートメニューが表示されます。ここから、アプリを開いたり、設定したり、電源を操作することができます。

[デスクトップモードの場合]



スタートボタンをクリックするごとにメニュー画面がオン/オフになります。

アクションセンターアイコンをクリックして表示されるパネルから「タブレットモード」をクリックするとモードを切り替えることができます。



キーボードから取り外して使用する場合は、タップなどの操作がしやすい画面に切り替えることができます。

【タブレットモードの場合】

-  クリックするとアイコンの名称が表示されます。
-  タイル型でアプリが表示されます。
-  すべてのアプリをテキスト表示します。



※タブレットモードではストアアプリが全面表示になります。

基本操作

アプリを開く

スタート画面のタイル表示のアプリはクリックすると開くことができます。

すべてのアプリは名前順で一覧が表示されます。スライドさせて選択します。下の方にあるアプリを選択する場合は、頭文字をクリックすると頭文字一覧画面が現れますので、そこから頭文字を選択します。

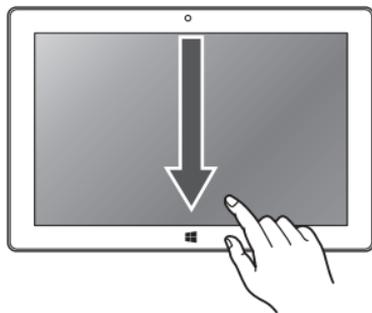
表示されたアプリを長押しすると「スタート画面にピン留めする」か「タスクバーにピン留めする」を設定することができます。



アプリを閉じる

アプリの右上隅にある「×」閉じるアイコンをクリック、またはタップします。

タブレットモードのストアアプリの場合は、右上にマウスを移動すると「×」が表示されるのでクリックします。または、画面の上端から画面下までスワイプすると終了します。



アプリの操作

[デスクトップモードの場合]

クリックして終了



各アプリの左上のメニューアイコンをクリックすると、アプリに関連する情報や詳細設定を実行することができます。

ストアアプリもデスクトップ上で単独のウィンドウで起動します。

基本操作

アプリの切り替え

複数のアプリを同時に起動している場合、「タスクビューアイコン」をクリックするとアプリを一覧表示し、簡単に別のアプリを開くことができます。

【デスクトップモードの場合】



キーボードで実行する場合は「Windowsキー」と「Tabキー」を同時に押し、タスクビューが表示されます。矢印キーで選択して確定します。

「新しいデスクトップ」をクリックすると、新しい仮想デスクトップを作成します。目的ごとに異なるアプリを起動して使用することができます。

アプリの分割表示

複数のアプリのウィンドウを分割表示することができます。左右2分割、さらに4分割にすることができます。

【デスクトップモードの場合】

スナップ機能をつかってウィンドウを左右どちらかの端にドラッグすると2分割にリサイズされます。四隅の角に移動すると4分割サイズになります。



キーボードで実行する場合は「Windowsキー」と「矢印キー」を使って、左右、あるいは上下の方向に分割することができます。

※ストアアプリは最小サイズの制限があるため、デスクトップのサイズによっては、4分割できないことがあります。

基本操作

Cortana(コルタナ)を利用する

タスクバーの「検索ボックス」をクリックするか、スタートメニュー「すべてのアプリ」から「Cortana」を選択します。

※ご利用になる場合はMicrosoftアカウントでサインインしている必要があります。

- ① 最初にCortanaの紹介が表示されるので「次へ」をクリックして設定を進めます。いくつかの情報を提供した後、使う準備が完了します。

- ② 「何でも聞いてください」の枠内をクリックするとキーボードが表示されます。ここに文字を入力します。

または「マイク」アイコンをタップして、「聞き取り中...」の文字が表示されたら、マイクに向かって話しかけます。



※最初はマイクのセットアップが始まります。

- ③ 検索結果が表示されますので、読みたい記事をタップします。

※Cortanaがオフの場合に「検索ボックス」をクリックすると、「WebとWindowsを検索」機能になります。



アクションセンター



タスクバーのこのアイコンをタップするか、画面を右端からスワイプするとアクションセンターが開きます。

【通知エリア】

アプリやWindowsからの重要な通知を一覧表示し、通知をクリックすることで目的の設定を変更する画面を起動することができます。

【クイックアクション】

使用頻度の高い設定をすばやく変更できるようにアイコンが設置されています。

主な設定項目としては…

- タブレットモードとデスクトップモードの切り替え
- 回転ロックのオン/オフ
- 設定画面を開く
- 明るさの調節(4段階で切り替え)
- Wi-Fiの接続のオン/オフ切り替え
- 機内モード(通信機能のオフ)



使用方法

ネットワーク設定

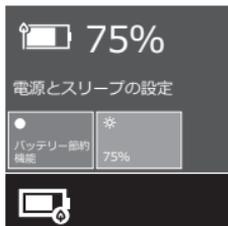
- ①  タスクバーのこのアイコンをクリックするとネットワーク設定の画面が開きます。
- ② Wi-Fiのアイコンをオンにして、候補の中から接続したいネットワークを選択します。
- ③ 「自動的に接続」にチェックを入れ「接続」をクリックします。指示が表示されたら「ネットワークセキュリティ(パスワード)」を入力して、「次へ」をクリックします。「接続済み」と表示されたらネットワーク設定は完了です。

※ネットワーク設定は、スタートメニューの「設定」→「ネットワークとインターネット」→「Wi-Fi」から設定することもできます。



バッテリー節約

- ①  タスクバーのこのアイコンをタップするとクイックアクションが表示されます。
- ② 「バッテリー節約機能」をタップすると、節電効果がオンになります。
- ③  タスクバーのこのアイコンをタップするとバッテリーの残量が確認できます。



ボリュームの調整

【音量調節ボタン】

本体上面の「音量調節ボタン」の「+」側を押すことでボリュームアップします。「-」側でボリュームダウンできます。

音声出力端子

本体内蔵スピーカーから、または音声出力端子にイヤフォンなどを差し込んで、音楽を聴いたり、動画を視聴することができます。

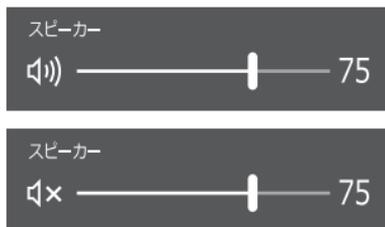


【サウンドアイコン】

 タスクバーにあるサウンドアイコンをクリックしてボリュームスライダーを調整します。

消音にする場合は、画面のスピーカーアイコンをタップします。「×」印のついたアイコンになります。有効にする場合はもう一度タップします。

サウンドアイコンを長押しすると、サウンドに関する詳細設定ができるパネルが開きます。

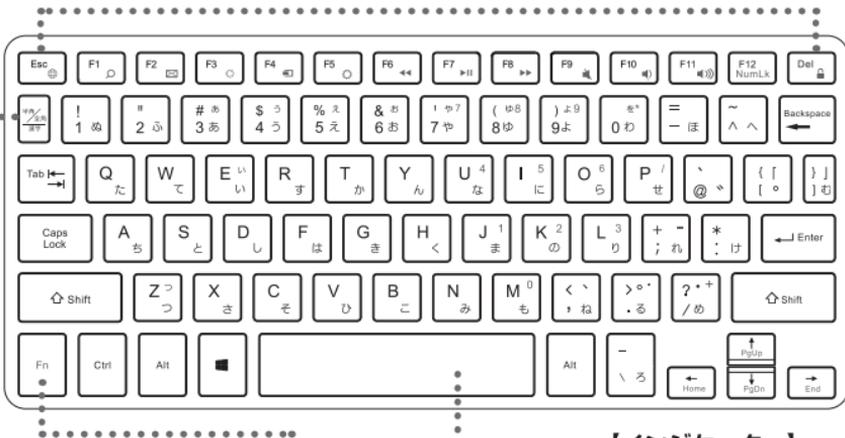


使用方法

キーボードを使う

【ファンクションキー】…Fnキーと組み合わせて使います。

Esc=ブラウザ	F4=接続	F8=早送り	F12=ナムロック
F1=検索	F5=設定画面	F9=ミュート	Del=画面のロック
F2=メール	F6=早戻し	F10=ボリュームダウン	
F3=共有	F7=再生/一時停止	F11=ボリュームアップ	



【インジケータ】

●●入力モード切り替え…押すごとにひらがな半角英数字を切り替えます。

「Fn」キー…青い文字キーを同時に押して、それぞれ固有の機能を実行します。

スペースバー…空白を入力します。または未確定文字を交換します。

Ⓛ 電源…本体をセットした時に点灯。

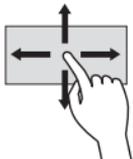
Ⓐ Shift+CapsLock…キャプスロックオンで点灯。

① Fn+NumLK…ナムロックオンで点灯。青い数字キーをテンキーのように使えます。

タッチパッドを使う

タッチパッドは下図のような指の操作をすることで、マウスで行っている機能のように使用できます。

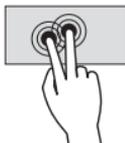
1本指でスワイプ



マウスでの機能

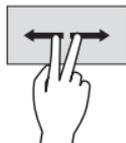
カーソル移動

2本指でタップ



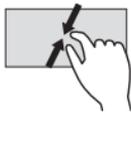
右クリック

2本指で左右移動



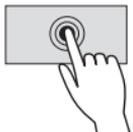
横スクロール

2本指でピンチイン



縮小

1本指でタップ



マウスでの機能

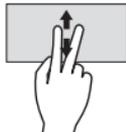
シングルクリック

3本指でタップ



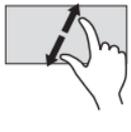
ミドルクリック

2本指で上下移動



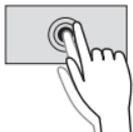
縦スクロール

2本指でピンチアウト



拡大

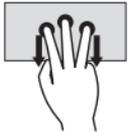
1本指でダブルタップ



マウスでの機能

ダブルクリック

3本指で下方向にスワイプ



ディスプレイハイド

使用方法

スクリーンキーボードを表示する

タブレットモードでは、画面上で文字を入力できる場所をタップすると自動的に表示されます。

デスクトップモードの場合は、タスクバーの「キーボードアイコン」をタップすると表示されます。

キーボードを閉じる場合はこのボタンをタップします。



ここをタップすると記号とテンキーのキーボードに切り替わります。

ここをタップすることで「かな入力」か「英数入力」を切り替えます。

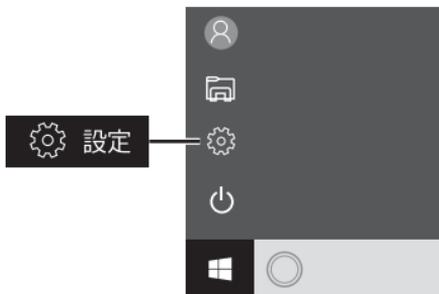
片手で入力できるタイプの「分割キーボード」指で入力できるタイプの「手書きキーボード」などに切り替えることができます。

設定

設定画面を開く

スタートメニューの「設定」をクリックすると「設定画面」が表示されます。各カテゴリーをクリックして目的の設定項目に入っていきます。

また、画面中央の検索ボックスを使って設定項目を探すこともできます。



他に「設定画面」を開く方法は、アクションセンターの「すべての設定」をクリックするか、キーボードで「Windowsキー」と「iキー」を押して開きます。

☐ システム

◆ディスプレイ

ディスプレイのカスタマイズを行ないます。テキストやアプリのサイズ変更、画面の回転ロックや明るさのレベル調節などが設定できます。

◆アプリと機能

すべてのアプリを表示して、サイズを確認したりアンストールやドライブの移動などできます。アプリ名を入力して検索することもできます。

◆既定のアプリ

ブラウザーやメール、マップなどの各用途別の既定のアプリを設定します。

◆通知とアクション

アクションセンターのクイックアクションを設定したり、通知に関する表示の方法を決めます。

◆電源とスリープ

画面オフとスリープまでの時間を設定します。また、スリープ中にネットワーク接続を継続するかを決めることもできます。

◆バッテリー

現在のバッテリーレベルを確認したり、バッテリーの寿命を延ばす「バッテリー節約機能」を設定します。

◆ストレージ

ドライブの使用サイズを確認できます。ドライブをクリックすると、その領域が何に使われているか詳細な情報が確認できます。また、アプリやドキュメント、音楽、ビデオなどが保存される場所を変更することができます。

システム

◆オフラインマップ

地図をダウンロードすると、インターネットに接続していないときでも場所を検索したり、ナビを利用できます。

◆タブレットモード

タブレットモードの切り替えや表示、サインイン時の動作などを設定します。

◆マルチタスク

ウィンドウを分割表示するスナップ機能を設定したり、仮想デスクトップの表示に関する設定をします。

◆このPCへのプロジェクション

WindowsスマートフォンまたはPCからこの画面に出力し、キーボードやマウスなどのデバイスを使用します。

◆Webサイト用のアプリ

アプリをWebサイトに関連付けます。

◆バージョン情報

本製品のPC情報を一覧で表示して確認することができます。

デバイス

◆プリンターとスキャナー

プリンターとスキャナーの追加を行ないます。

◆接続中のデバイス

デバイスの追加を行ないます。また、現在接続中のデバイスを一覧で表示します。

◆Bluetooth

Bluetoothデバイスの管理を行ないます。「オン」に設定することでアクティブになります。検索されたデバイスから「ペアリング」を実行します。

◆マウスとタッチパッド

マウスとタッチパッドに関する設定を決めます。

◆入力

タッチキーボードに関する設定を決めます。

◆自動再生

自動再生機能を使用するかを決めます。また、ドライブやメディアごとに自動再生の仕様を選択できます。

◆USB

USBデバイスへの接続に問題がある場合に通知するか選択します。

ネットワークとインターネット

◆状態

ネットワークの状態を図で示します。

◆Wi-Fi

Wi-Fiをオンにして、ご使用するネットワークを選択してパスワードを入力し接続を完了します。

◆ダイヤルアップ

「新しい接続を設定する」をタップすると接続のセットアップのコントロールパネルが開きます。

◆VPN

VPN接続を追加します。接続名やサーバー名などの情報を入力して設定します。

◆機内モード

すべてのワイヤレス通信を停止する場合は「オン」にします。また、Wi-FiやBluetoothなどデバイスごとにオン/オフを設定することもできます。

◆モバイルホットスポット

インターネット接続を他のデバイスと共有するオン/オフを設定します。

◆データ使用状況

データ使用量を確認できます。「使用状況の詳細」をタップするとアプリ別の通信料を確認することができます。

◆プロキシ

プロキシのセットアップを自動か手動で行う設定があります。

個人用設定

◆背景

背景の画像を変更できます。候補から選択するか、オリジナル画像を設定することもできます。また、画像の表示方法も選択することができます。

◆色

アクセントカラーを選択できます。背景画像から自動的にカラーを選ぶこともできます。また、スタート、タスクバー、アクションセンターに色をつけたり、透明にすることができます。

◆ロック画面

ロック画面の画像を変更できます。候補から選択するか、オリジナル画像を設定することもできます。スライドショー再生にすることもできます。また、画面に状態の詳細を表示するアプリを追加することもできます。

◆テーマ

テーマの設定をクリックすると、コンピューターの視覚効果と音を変更するコントロールパネルが開きます。

◆スタート

スタート画面に表示するアプリの設定を決めます。

◆タスクバー

タスクバーのロックや表示形式、ボタンのサイズなどの仕様を決めます。

アカウント

◆ユーザーの情報

お使いのアカウントを表示します。ローカルアカウントの場合は、Microsoftアカウントのサインインに切り替えることができます。

◆メール&アプリのアカウント

メールやカレンダーなどのアカウントを追加できます。

◆サインインオプション

ロック画面を解除してサインインするためのオプション設定です。

- パスワード…お好みの半角英数字を入力します。
- PIN(暗証番号)…4桁の数字を入力してすばやくサインインします。
- ピクチャーパスワード…お気に入りの写真を使ってサインインします。

◆職場または学校にアクセスする

職場または学校の共有リソースにアクセスできます。

◆家族とその他のユーザー

Microsoftアカウントでサインインしていると、ここに家族を追加することができます。家族メンバーには専用のサインインとデスクトップが割り当てられます。また、それ以外の新しいユーザーを追加することもできます。

◆設定の同期

テーマやブラウザなどの設定の同期をオンにするか決めます。この機能は職場アカウントまたはMicrosoftアカウントを使用している場合のみ利用できます。

時刻と言語

◆日付と時刻

現在の時刻とタイムゾーンが表示されていますので確認してください。
日付と時刻を変更する場合は、「時刻を自動的に設定する」をオフにした上で「変更」をタップします。時刻を入力して「変更」ボタンをタップします。
日付や時刻の表示形式を変更することもできます。

◆地域と言語

国または地域は「日本」に選択されています。
言語を追加する場合は「言語を追加する」アイコンをタップして、各国の言語を選択します。その言語で入力できるようにキーボードも追加されます。

◆音声認識

デバイスで音声認識に使う言語を選択します。また、アプリの規定の音声を変更することができます。マイクに音声認識をセットアップします。

簡単操作

◆ナレーター

画面上のテキストやボタンをすべて読み上げる機能です。デフォルトではオフになっています。オンにすると音声や読み上げスピードなどを設定できます。

◆拡大鏡

オンにすると画面上の項目を拡大します。

◆ハイ コントラスト

テキストやリンクなどをハイコントラストなカラーリングでわかりやすくします。4種類のテーマから選択することができます。

◆字幕

字幕のフォントや背景を詳細に設定することができます。

◆キーボード

スクリーンキーボードに関する詳細な設定を決定することができます。

◆マウス

ポインターのサイズや色を選択します。また、テンキーを使ってマウスを移動する機能を使うか決めます。

◆その他のオプション

通知を表示する長さやカーソルの太さ、サウンドの視覚的な通知など視覚オプションを設定します。

プライバシー

◆全般

各種プライバシーオプションの変更を設定できます。各項目をオン/オフで設定していきます。

◆位置情報

アプリで自分の位置情報を使うことを許可するか決めます。また、位置情報を使うことを許可するアプリを個々に設定できます。

◆カメラ

アプリで自分のカメラを使うことを許可するか決めます。

◆マイク

アプリで自分のマイクを使うことを許可するか決めます。

◆通知

通知にアクセスできるアプリを選択します。

◆音声認識、手描き入力、入力の設定

音声や手書きの入力など「あなたに関する情報」を収集する設定がされています。

◆アカウント情報

アカウント情報にアプリがアクセスすることを許可するか決めます。

◆連絡先

連絡先にアクセスできるようにするアプリを選択します。

◆カレンダー

カレンダーにアプリがアクセスすることを許可するか決めます。

プライバシー

◆通話履歴

アプリが通話履歴にアクセスすることを許可するか決めます。また、アクセスできるアプリを選択します。

◆メール

アプリがアクセスしてメール送信することを許可するか決めます。また、アクセスしてメール送信できるアプリを選択します。

◆メッセージング

SMSなどのメッセージにアプリがアクセスすることを許可するか決めます。また、アクセスできるようにするアプリを選択します。

◆無線

アプリが無線を制御することを許可するか決めます。また、アクセスできるようにするアプリを選択します。

◆他のデバイス

アプリが自動的に情報の共有や同期を行えるようにするかを決めます。

◆フィードバックと診断

フィードバックを求められる頻度を設定します。また、デバイスのデータをMicrosoftに送信する度合いを選択します。

◆バックグラウンドアプリ

使っていない時でも情報の受信や通知の送信を許可して、最新の状態を維持できるようにするアプリを個々に設定します。

更新とセキュリティ

◆Windows Update

お使いのデバイスの最新状態を確認できます。また、「更新プログラムのチェック」をクリックすると最新の更新プログラムを確認することができます。通常は自動的にインストールされます。

◆Windows Defender

マルウェアを検出し、インストールされて実行されることを防ぐ「リアルタイム保護」やより強固な保護のためにセキュリティ問題を送信する「クラウドベース保護」などの設定がオンになっています。

◆バックアップ

ファイルを別のドライブにバックアップし、元のファイルが見つからない場合や削除された場合に復元します。

◆回復

「このPCを初期状態に戻す」でWindowsを再インストールするか、「PCの起動をカスタマイズする」を実行することができます。

◆ライセンス認証

本体のライセンス認証を確認する。「プロダクトキーを変更する」ことができます。

◆デバイスの検索

デバイスを紛失した場合に、最後に確認された位置を確認します。

◆開発者向け

開発目的でのみ使用できる設定を選択することができます。

コントロールパネル

コントロールパネルから各種の設定をすることもできます。開くときはスタートメニューのアプリ一覧から「Windowsシステムツール」→「コントロールパネル」をクリックします。キーボードからは「Windowsボタン」+「Xキー」で開くメニューから、「コントロールパネル」をクリックします。



コントロールパネル

【設定カテゴリー】

【システムとセキュリティ】…コンピューターの状態を確認します。

【ネットワークとインターネット】…ネットワークの状態とタスクを表示します。

【ハードウェアとサウンド】…デバイスに関する設定を行ないます。

【プログラム】…プログラムをアンインストールします。

【ユーザーアカウント】…アカウントを設定します。

【デスクトップのカスタマイズ】…テーマや背景を変更します。

【時計、言語、および地域】…言語を追加したり、入力方法を変更します。

【コンピューターの簡単操作】…視覚ディスプレイの最適化などを設定します。

- 右上の検索ボックスに名前を入力して、設定項目を探することができます。
- 表示方法をカテゴリーから「大きいアイコン」あるいは「小さいアイコン」にすると設定項目が一覧で表示されます。

外部機器との接続

本体の端子から様々なデバイスに接続する方法を説明します。

USBポートに接続する

マウス、プリンター、USBメモリ、外付けハードディスクなどのUSBデバイスを、本体のUSBポートに接続して使うことができます。

ポートは、USBポートが2ヶ所、microUSBポートが1ヶ所あります。

【マウス】

本体のUSBポートに、直接差し込むか、付属のUSB変換ケーブルを利用して接続します。

マウスの設定を変更する場合は、「設定」>「デバイス」>「マウスとタッチパッド」の順でタップします。

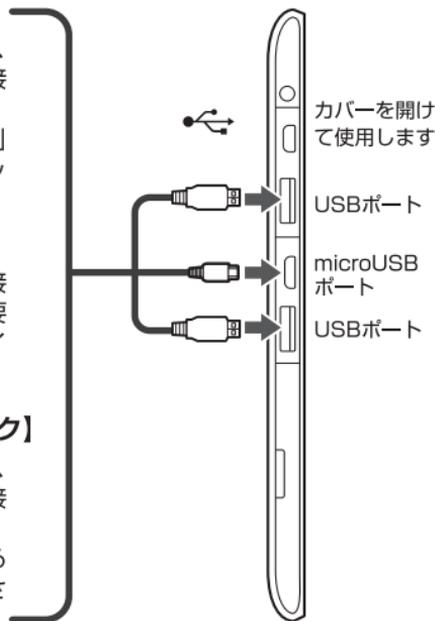
【プリンター】

本体とプリンターをUSBケーブルで接続します。プリンタードライバーが必要な場合は、プリンターの説明に従ってインストールしてください。

【USBメモリ、外付けハードディスク】

本体のUSBポートに、直接差し込むか、付属のUSB変換ケーブルを利用して接続します。

リムーバブルディスクとして利用する場合の方法は、P.52を参照してください。



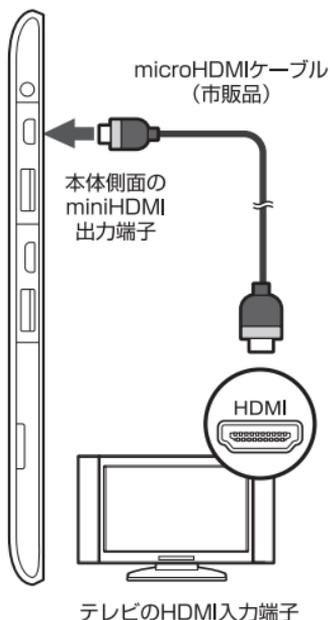
外部機器との接続

microHDMI端子に接続する

○テレビやプロジェクターなどのHDMI端子に接続して大きな画面で表示することができます。

- ① 本体のmicroHDMI出力端子と、テレビのHDMI入力端子を、microHDMIケーブル(市販品)で接続します。
- ② テレビの映像入力をHDMIモードに切り替えます。
- ③ スタートメニューから「すべてのアプリ」→「windowsシステムツール」→「コントロールパネル」をクリックします。
- ④ 「ハードウェアとサウンド」→「サウンド」をクリックします。「再生」タブのテレビのアイコンを選択し、「既定値に設定」ボタンをクリックし、最後に「OK」をクリックします。
※この設定を行なうと、本製品から音声は出力されなくなります。

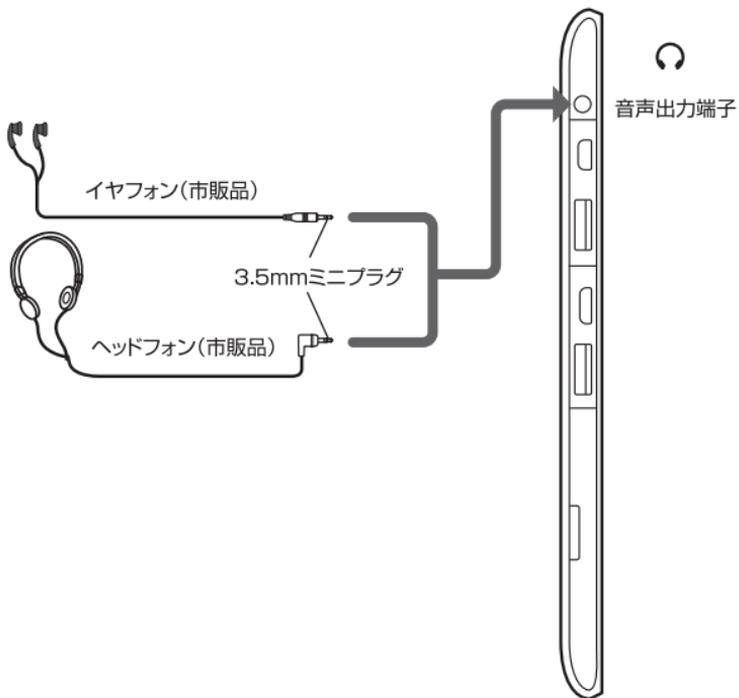
- ⑤ 終了後は本体の電源をオフにして、ケーブルの接続を外してください。



音声出力端子に接続する

○本体の音声出力端子に、お手持ちのヘッドフォンやイヤフォンを接続して音声を聴くことができます。

※接続する際は、事前に音量を下げてから接続を行ってください。



外部機器との接続

microSDメモリーカードスロットを使う

○microSD、microSDHCカードを本体に挿入して記憶域を追加できます。

セットする時は……

- ① 本体の電源をオフにして、本体側面のmicroSDメモリーカードスロットにSDカード(市販品)をセットします。

※セットする方向を確認し、カチッと音がするまで差し込みます。

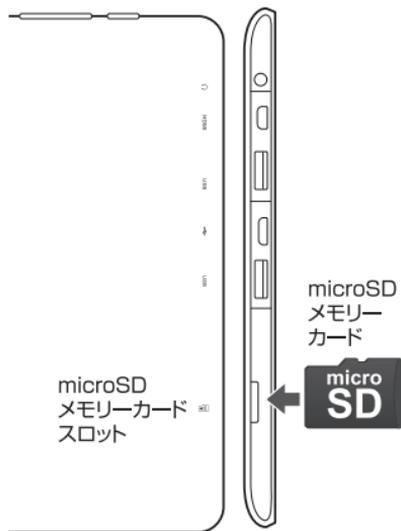
- ② microSDメモリーカードが自動的に読み込まれます。

取り外す時は……

- ① SDカードを取り外す時は、本体の電源をオフにします。

- ② SDカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込むと、カードの頭が少し出てきます。カードの端をつまみ、まっすぐに引き抜きます。

※SDカードを無理に押し込んだり、引き抜いたりしないでください。故障・内部データ消失の原因となります。



本体背面から見てカードの表を上にしてセットします

メモリ、ファイル管理

ディスク領域の確認

エクスプローラーを開き、ウィンドウ左側の「PC」を選ぶとディスクの空き容量を確認することができます。

また、アプリのサイズを確認するには、「設定」>「システム」>「アプリと機能」を開くと各アプリが使用しているサイズを確認できます。

その他のメモリオプション

内部ストレージに加え、外部メモリを使用してストレージを増やすことができます。

【microSDメモリーカード】

microSD、microSDHCカードを本体のスロットに差し込んで、ストレージを追加できます。セットの方法はP.50を参照してください。

【USBメモリ】

本体のUSBポートにUSBメモリを差し込んで、ストレージを追加できます。

【外付けハードディスク】

本体とUSBケーブルで接続して、ストレージを追加できます。

メモリ、ファイル管理

ファイルとフォルダー

ファイルの削除、コピー、移動などを行う場合は、エクスプローラーを使うことができます。エクスプローラーを開くには以下の方法があります。

- スタートメニューから「エクスプローラー」をクリックします。
- タスクバーの「フォルダー」アイコンをクリックします。

外部メモリを使ってファイルを追加する

microSDメモリーカードやUSBメモリなどにあるファイルを、本製品に追加する方法は以下の手順で行います。

- ①別のコンピューターで、SDカードやUSBメモリなどのメディアにファイルをコピーします。
- ②そのメディアを本体のmicroSDメモリーカードスロットやUSBポートに差し込みます。
- ③画面にリムーバブルディスクの操作に関する通知が表示されます。クリックして「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択します。SDカードの場合はエクスプローラーから開くことができます。
- ④追加するファイル、またはフォルダーを選択します。
- ⑤「ホーム」タブの「コピー先」をクリックします。
- ⑥コピー先のフォルダーを選択して、確定します。

※終了後、メディアを取り外す場合は、タスクバーから安全な取り外しをクリックしてから取り出してください。

アプリを使う

※アプリは、OSのアップグレードのバージョンによって異なる場合があります。予めご了承ください。

カメラを使う



スタートの「すべてのアプリ」から「カメラ」を選択して起動します。

○静止画は「写真ボタン」を1回クリックします。

○動画は「ビデオボタン」をクリックします。撮影時間が表示されます。もう一度「ビデオボタン」をクリックして撮影を終了します。

フォトアイコンをクリックすると撮影した画像をすぐに確認できます。

前面と背面のカメラの切り替え。「>」アイコンをクリックするとホワイトバランスや露出などを設定できるクイックメニューが開きます。



※デスクトップモードでは自由にサイズを変えられるウィンドウとして開きます。

アプリを使う

主な組み込みアプリ

本製品には様々なアプリがインストールされています。詳しい使用方法については、各アプリの左上メニューアイコンをクリックして、「設定」>「アプリについて」のヘルプなどを参照してください。



Microsoft Edge

Webページに直接メモを手書きしたり、後で読みたい記事を保存できる新しいブラウザです。



ニュース

最新の情報を写真が豊富な記事で知ることができます。



フォト

本体内の写真を表示したり、外部の写真をインポートすることもできます。



天気

最新の予報を確認できます。24時間の変化や1週間分の予報をチェックできます。



ミュージック

本体内の音楽を再生できます。また、曲を入手して追加することもできます。



メール

自分が持っている電子メールアカウントのメールを読んだり返信ができます。

トラブルシューティング

●故障かなと思ったら、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">○AC電源アダプターはしっかり接続されていますか？ 差し込みを確認してください。○電池残量が無くなった可能性があります。充電をしてから再度電源をオンにしてみてください。○プログラムの異常で電源を制御するコントローラーが停止している可能性があります。電源ボタンを約10秒間押し続けて強制的にシャットダウンしてから、再度電源をオンにしてください。
起動に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none">○初めて起動する場合や、電源オフの状態から起動するときは、起動に時間がかかる場合があります。
画面がすぐ消える/暗くなる	<ul style="list-style-type: none">○電池の消費を抑えるため、一定の時間が経つと自動的に画面がオフ(スリープ)になります。○画面がオフ(スリープ)になるまでの時間を変更したいときは、「設定」→「システム」→「電源とスリープ」で時間を変更します。○画面がオフ(スリープ)になるまでの時間を長く設定すると、バッテリーの消耗が早くなります。
動作が遅くなった/動作が不安定になった	<ul style="list-style-type: none">○周辺が高温、低温の場所でお使いの場合、動作が遅くなる場合があります。○本製品の動作が遅くなったり、不安定になった場合は、一度電源をオフにしてから、再度電源をオンにすると改善する場合があります。○動作が不安定な場合、本製品のデータ保存領域がいっぱいになっている可能性があります。不要なアプリをアンインストールしてください。
本体の向きを変えても画面が回転しない	<ul style="list-style-type: none">○画面の自動回転が無効になっている場合はアクションセンターの「回転ロック」を解除してください。○お使いのアプリによっては、画面の回転に対応していない場合もあります。故障ではありません。

トラブルシューティング

タッチパネルが意図したように動作しない	<ul style="list-style-type: none">○タッチパネルにタッチしている時間、位置、操作する早さなど、いろいろ試してみてください。○タッチパネルが動作しない場合、一度電源をオフしてから、再度電源を入れてください。
日付、時計がリセットされている	<ul style="list-style-type: none">○内蔵充電電池が極端に消耗すると、日付、時計がリセットされることがあります。内蔵充電電池を充電し、設定から日付、時計を再度設定してください。
microSDメモリーカードが読み込まれない	<ul style="list-style-type: none">○microSDメモリーカードは正しくセットされていますか？ 先の細い棒状のものを使って抜き差しすると確実にセットしやすくなります。○microSDメモリーカードのフォーマットなどが非対応のものでないか確認してください。
ファイルの再生が始まらない	<ul style="list-style-type: none">○メディア (microSDメモリーカードなど) が正しくセットされているか確認してください。○本製品では再生できない種類のメディア、ファイルの可能性もあります。種類を確認してください。
音声が出ない	<ul style="list-style-type: none">○タスクバーのスピーカーをタップして音量を確認してください。ミュート (消音) になっている場合は解除します。○対応していない動画を再生した場合、映像のみ表示されて音声がでない場合があります。
選択した言語で表示されないアプリがある	<ul style="list-style-type: none">○アプリによっては、言語設定で選択された言語に対応しておらず、異なる言語で表示される場合があります。
Wi-Fiネットワークに接続できない	<ul style="list-style-type: none">○Wi-Fiがオフの場合はタスクバーから「Wi-Fi」アイコンをタップして「オン」にして、ネットワークを設定します。○通信機器間に電波をさえぎる障害物がないか、距離が離れすぎていないか確認してください。

主な仕様

CPU	インテル® Atom™ x5 (Z8300) クアッドコア・プロセッサー 1.44GHz~1.84GHz
GPU	インテル® HD グラフィックス
メモリ	2GB
ストレージ	32GB
OS	Windows 10 Home Anniversary Update
ディスプレイ	10.1インチIPS液晶モニター・LEDバックライト
画面解像度	800×1280
無線LAN	IEEE 802.11 b/g/n
Bluetooth®	Bluetooth® 4.0
端子・スロット	microUSB 2.0 端子・USB 2.0 端子×2・microHDMI出力端子・3.5mmヘッドフォン出力端子・microSDメモリーカードスロット
カメラ	前面カメラ：200万画素 背面カメラ：500万画素
センサー	Gセンサー
スピーカー	内蔵ステレオスピーカー 1W+1W
マイク	内蔵マイク
再生可能メディア	microSDメモリーカード・USBメモリ(最大32GB対応)
電源	AC電源アダプター (AC100-240V~ 50/60Hz) 内蔵型リチウムポリマー充電電池 (6500mAh/3.7V)
消費電力	最大約 5.5W
内蔵型充電電池 充電時間・ 連続使用可能時間	充電時間：約4.5時間 (電源オフ/AC電源アダプター充電) 連続使用可能時間：最大 約4時間 ※使用状況や環境により変化する場合があります。
使用環境	温度：0~40℃・湿度：最大80% (結露なきこと)
外形寸法	(W)約260×(D)約9.8×(H)約160mm (突起部除く)
質量	約568.4g
生産国	中国

主な仕様

■ キーボード

接続方式	マグネットタイプ 5ピン
キー数	78キー（日本語配列）
キータイプ	パンタグラフ
キーピッチ	約16.5mm
キーストローク	約5.9mm
外形寸法	(W)約259.8 × (D)約175.8 × (H)約16.3mm（突起部除く）
質量	約336g

■すべてのデータは当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

※ファイルの種類/記録データ/設定/サイズ/形式/記録状態等によっては、操作・再生など行えない場合があります。

※本製品でネットワーク機能を使用する場合、別途インターネット回線契約が必要です。

※Windows OS（アプリ等含む）に関してはサポート対象外となります。

※Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Intel, Intel ロゴ, Intel Inside ロゴ, Intel Atomはアメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。

※Bluetoothは米国内におけるBluetooth SGI Inc.の登録商標または商標です。

※コンテンツによってはダウンロードできないものもあります。

※メディアの種類/記録データ/設定/サイズ/形式/記録状態等によっては、操作・再生など行えない場合があります。

※microSDメモリーカードは別売となります。

※その他、記載の会社名および商品・サービス名は各社の登録商標または商標です。

■液晶画面について

以降の内容は、液晶画面の特性によるもので、故障ではありません。○一部に常時点灯、または常時点灯しない画素が存在する場合があります。○明るさにむらが生じる場合があります。○太陽光、ライトなどが当たると画面が見えにくくなります。

アフターサービス

重要

本製品のお買い上げ時に付属しているOS以外のご利用についてはサポートいたしかねます。
ご自分でOSを変更された場合は、当社では動作保証はいたしません。

トラブルが発生した場合は、当社ホームページをご覧ください。
それでもトラブルが解消されない場合は、フロンティアカスタマーセンター
☎ 0800-100-5046までご連絡ください。

保証書

修理規定をご確認のうえ、表面の所定の場所に必要事項をご記入ください。保証書は修理や電話サポートを承る際に必要です。レシート等と大切に保管してください。

FRONTIER

製品保証書

※フロンティアPCワランティにご加入の場合、加入証・特約条項が付属いたします。
ご確認の上、大切に保管してください。

使用上のお願い（必ずお読みください）

ご確認ください

- 当社製品をご使用いただく場合、当社の各種規定にご同意いただいたものとします。
- 当社は「保証規定」にそってサービスを提供いたします。
- 最新の規定は、当社ホームページにて公開しています。

ご注意ください

- 同梱されている専用ACアダプターは本製品以外ではご使用いただけません。
- 同梱されている専用電源用USBケーブルは、本製品以外ではご使用いただけません。

アフターサービス

お問い合わせ先は

インターネットサポートページ

●FRONTIER製品の情報がご確認いただけます

<http://www.frontier-direct.jp/support/>

フロンティアカスタマーセンター

●操作方法や修理前のご相談はこちら



0800-100-5046

営業時間 10:00～21:00 (定休日:年末年始・当社指定定休日)

Web修理受付

●修理のご依頼はこちら

<http://www.frontier-direct.jp/sa/>

フロンティアリペアセンター

営業時間 9:00～18:00(定休日:土・日・祝祭日・年末年始・当社指定定休日)

修理品の送付先

〒742-0021 山口県柳井市柳井5984-1

フロンティアリペアセンター

修理中の製品についてのお問い合わせはこちら ☎0120-248-555

携帯電話からのご確認はこちら

<http://www.frontier-direct.jp/st/>

保証規定

本規定は、インバースネット株式会社（以下「当社」といいます）が製造及び販売した商品（以下「製品」といいます）の保証範囲を定めるものです。いかなる場合であっても本規定の範囲を越えて、製品の保証を提供することはありません。また、製品をご使用のお客様が当社に保証を求める場合、本規定にご同意いただいたものと見なします。ご同意いただけない場合、当社は電話などの対応を含む保証を提供いたしかねます。

構成部品の区分

ハードウェア	パソコンを構成するケース、電源装置、基板類、ドライブ類、モニター、キーボード、マウスなど電子、機械部分の総称です。消耗部品、有寿命部品、それ以外の部品に大別されますが、有寿命部品以外の部品にも寿命があります。
ソフトウェア	ハードディスクなどの記憶装置内に保存されたOSを含む、プログラムやデータ類の総称です。

消耗部品と有寿命部品

製品には消耗品と有寿命部品が含まれています。これらの部品は定期的な交換が必要となります。各製品の交換時期は、使用状況や使用環境などによって変わりますが、使用頻度によっては、早めに交換するなどの注意が必要です。

消耗部品	お客様ご自身で購入及び、交換を行っていただく部品です。 ※ 製品内部の電池など一部の部品はリペアセンターでの有償交換が必要となります。 <ol style="list-style-type: none">CD-ROMなどの各種メディア類。乾電池、BIOS情報保持用電池、容易に取り外し可能な蓄電池全般。
有寿命部品	使用状況、使用環境によって消耗、劣化の進行具合が変化し、不定期に交換が必要となる部品です。消耗や劣化に起因する故障や性能低下の場合は、保証期間内であっても有償対応となる場合があります。 <ol style="list-style-type: none">ハードディスク、光学ドライブ、フロッピーディスクドライブなどの回転機構を有するドライブ類。CPUファン、ケースファン、電源装置、ビデオカード（ファンを有する場合）などの回転機構を有する部品。ACアダプター、液晶パネル及びバックライトなどの電子回路部品。キーボード、マウスなどの機構部品。内蔵バッテリー部品全般。

使用環境について

- 製品を使用する環境の温度が10°C以上35°C以下であること。
- 製品を使用する環境の湿度が20%~80%（結露していない状態）であること。
- 製品を使用する環境は日本国内であること。
- 製品に適切な電力が供給されていること。
- 製品の外部及び内部の清掃を適宜行い、動作に支障をきたす異物などの混入が無いこと。

第1条 適用範囲

1. 当社は、本規定に定めた条件に基づき、第3条で定める対象製品に対して保証を適用します。
2. 当社は、最新の保証規定を当社Webサイトにて公示するものとします。
3. 当社は、お客様への事前通知や、承諾無しに本規定の内容を変更できるものとします。また、本規定及び修理規定の内容が変更された場合、その公示日以降に当社が提供する保証・修理には、過去に製造及び販売された製品に対しても、変更された保証規定及び修理規定が適用されるものとします。
4. 修理などで当社が受け入れ中の製品については、その製品の当社入荷日時点での保証規定及び修理規定を適用します。
5. お客様と当社間の紛争については、横浜地方裁判所をもって第一審における合意上の専属的管轄裁判所とします。

第2条 保証範囲

1. 当社は、販売時の状態において、製品のハードウェア及びソフトウェアの動作を保証します。販売後に当社以外で施行されたハードウェアの増設や設定変更、ソフトウェアのインストールやアップデート、外部機器の接続などによる動作については保証しません。また、お客様が作成されたデータやインストールされたソフトウェアの動作も保証外とします。
2. 当社は製品及び製品に添付されているすべてのマニュアル、その他の注意書きに従った正常な使用方法ならびに、本規定の「使用環境について」を満たし、かつ、第7条の「保証対象外」に該当しない場合において、製品に故障が発生した場合には、保証期間内にかぎり無償にて当該製品の修理を行うものとします。
3. 製品購入時に別途「フロンティアPCワランティ」を加入されている場合には、本規定に加えて「フロンティアPCワランティ」で定める範囲を保証します。
4. 本規定は製品の機能を保証するものです。リペアセンターなど弊社指定工場での修理（以下「修理」といいます）に際して、販売時とは異なる部品を使用し、製品の構成を変更する場合があります。
5. 保証期間経過後は本保証の対象外となりますが、有償での修理サービスを提供できる場合もあります。
6. 当社製品は24時間の連続使用を想定していません。24時間以上の連続使用による故障及び障害につきましては、保証期間内であっても保証の対象外となります。
7. 当社に保証を求める場合には、保証書の提示が必要です。保証書を紛失した場合、保証書の再発行はできません。
8. 本規定は日本国内のみを対象とします。

第3条 対象製品

1. 本規定の対象は、当社が製造、販売したパソコン及びそのパソコンに標準で付属するキーボード、マウス、専用バッテリーなどの機能部品一式に加え、2008年以降に販売したフロンティアブランドの周辺機器とします。
2. 当社が販売した液晶モニター・プリンターなどの他社製品は、製造元の保証規定に基づき保証するものとし、本保証の対象外となります。
3. 製品に貼り付けられているCOAラベル（プロダクトキーシール）は本保証の対象外となりま

す。但し、「OS無しモデル」はこの項目に該当しません。「OS無しモデル」にはCOAラベルは貼り付けられていません。

4. パソコンにプリインストールされるソフトウェア類は保証の対象外となる場合があります。但し、「OS無しモデル」はこの項目に該当しません。「OS無しモデル」はハードウェアのみが保証の対象となります。

第4条 保証期間

1. 標準保証期間はご購入日より1年間です。但し、「長期保証」（保証期間を延長するサービス）に別途加入されている場合、その加入されたサービスの保証期間に準じます。
2. 製品の保証を受ける際には、「製品に添付されている保証書」と「レシートなど購入日が証明できるもの」が必要です。購入日が確認できず、保証書のみが提示された場合には、製品の当社工場出荷日を保証期間の起算日とします。
3. 製品に組み込まれた部品によって保証期間は異なる場合があります。有寿命部品は本条 1. の長期保証に加入された場合であっても、標準保証期間となる場合があります。
4. 保証期間の延長は、いかなる場合であっても行いません。

第5条 初期不良

1. 製品の保証期間起算日から14日以内に故障が発生した場合、製品の一部又は全部を交換させていただく場合があります。交換の判断は当社にて行うものとします。
2. 初期不良が発生した場合、保証期間及びその起算日は交換品の当社工場出荷日となります。
3. 当社が交換品を先に送付させていただいた場合、交換品がお客様のお手元に到着してから14日間以内に、初期不良品を当社の指定先へ返却いただくものとします。当該期間内に返却されなかった場合には、当社はお客様に、交換品の対価及び諸費用を請求できるものとします。但し、先に初期不良品を当社に返却いただいた場合や、交換品をお届けした際に初期不良品を回収した場合は除きます。
4. 製品に欠品がある場合、お客様は製品到着後7日以内にフロンティアカスタマーセンターまでご連絡ください。当該期間を経過した後に欠品のご連絡をいただいた場合、欠品物の提供は送料などの諸費用を含め有償となります。また、欠品物によっては、有償でも提供できない場合があります。
5. 製品購入時に、お客様が手配されたパソコンの設置及び設定の費用は、初期不良の対象とはならず、当社ではパソコンの設置及び設定に必要な費用の負担はいたしかねます。

第6条 返品

1. 製品の返品を希望される場合には、製品の保証期間起算日から1週間以内に、ご注文いただいた販売店までご連絡いただくこととします。返品手続き費用としてお支払い金額の2割と返金に必要な振り込み手数料を申し受けます。また返品時には返品理由を明記した書面を製品に同梱してください。返金は、返品いただいた製品を当社で確認した後となります。
2. 返品時の送料を含む諸費用はお客様のご負担とさせていただきます。
3. 以下の場合または不具合での返品をお受けできません。
 - (1) 保証対象でない故障や障害の場合。

- (2) 製品の仕様である場合。
- (3) 付属品などの欠品がある場合。
- (4) 本体及び付属品に着荷時障害でない破損、傷みや汚れがある場合。
- (5) 注文間違いである場合。
- (6) 提供済みのサービスである場合。
- (7) お客様がインストールされたプログラムが原因である場合。
- (8) お客様が増設された機器が原因である場合。

第7条 保証対象外

保証期間内であっても、以下の事項に該当する場合や、当社にて以下の事項に該当すると判断できた場合には保証の対象外となります。

1. 火災、地震、落雷、塩害、ガス害、風水害、その他天変地異、塵埃、振動、異常電圧、異常荷重、結露などの外部要因による故障及び破損が生じている場合。
2. 直接的又は間接的に火災、地震、落雷、塩害、ガス害、風水害、その他天変地異、戦争、騒乱及びこれらに準ずる事由を起因として故障、又は損傷が発生した場合。
3. 24時間の連続使用、高温多湿な場所や、粉塵・埃の多い場所など、一般的な家庭・オフィスでの使用環境・使用方法から著しく逸脱した状態で使用された場合。
4. かき傷、すり傷など使用上支障のない外観損傷の場合。
5. お客様の故意、過失による故障、破損の場合。
6. 当社及び、当社が指定する業者以外が製品の改造を行った場合。
7. 当社の純正製品以外の物品、製品を使用したことで障害が発生した場合。
8. 当該製品に含まれる部品を、当該製品以外に取り付けて使用した事で故障が発生した場合。
9. 非一般的な使用環境により、短期間に劣化した有寿命部品が故障した場合。
10. 製品に貼り付けてある当社発行のシリアルシールが汚損・紛失などにより、判読不能な場合。
11. 事故及び当社が指定する業者以外による輸送、改造又は修理などの不適切な作業に起因する障害が発生した場合。
12. お客様が設定されたソフトウェアのキーやパスワードを紛失された場合。
13. キャリングケースなどのアクセサリー類、当社製品に含まれないメディア類、消耗品、周辺機器そのほかの特殊部品など。

第8条 免責事項

以下の事項については、当社の責任外とし、万が一お客様に何らかの損失が発生した場合においても、当社は一切の責任を負わないものとします。

1. 製品の故障又は不具合において失われたデータやプログラムや遺失時間。また、お客様がこれらのデータやプログラムを失ったことに起因する、または遺失時間においての、直接的または間接的または派生的に発生した、または将来的に発生しうる遺失利益や、それらに伴う損害賠償請求などの拡大的損失。
2. オンラインやコールセンター等を含む、当社が提供するサービス内において失われたデータやプログラムや遺失時間。また、お客様がこれらのデータやプログラムを失ったことに起因する、または遺失時間においての、直接的または間接的または派生的に発生した、または将来的に発生しうる遺失利益や、それらに伴う損害賠償請求な

- どの拡大的損失。
3. 配送中のサービス・事故に関わる範囲・補償は、その配送会社の規定を適用し、当社では責任を負いません。
 4. 集荷・配送中の事故などに伴う、ソフトウェアやデーターの損失、直接的・間接的に関わらず発生する遺失利益などに対し、当社は一切の責任を負いません。

平成26年5月22日改訂

最新の規定は当社ホームページでご確認いただけます。

<http://www.frontier-direct.jp/support/>

修理規定

本規定は、インバースネット株式会社（以下「当社」といいます）の保証規定に基づき、当社が行う修理及びアップグレードサービスを定めるものです。いかなる場合であっても本規定の範囲を越えて、修理及びアップグレードサービスを提供することはありません。なお、本規定はその第1条に定めるとおり、改訂される場合があり、改訂された本規定は過去にさかのぼって適用されます。当社に修理及びアップグレードサービスを求める場合には、請求時点における保証規定及び修理規定にご同意いただいたものとみなします。ご同意いただけない場合、当社は保証及びサービスの提供をいたしかねます。

第1条 修理規定について

1. 本規定は、当社の保証規定で定める対象製品の保証及びサービスのうち、修理に関する無償修理、有償修理、アップグレードについて定めるものです。
2. 当社は、お客様への事前通知、承諾無しに本規定の内容を変更できるものとします。また、本規定の内容が変更された場合、その公示日以降に当社が提供する保証及びサービスには、過去に当社が製造及び販売した製品も含み、変更された本規定が適用されるものとします。但し、修理などで当社が受け入れ中の製品については、その製品の当社修理窓口（以下「リペアセンター」といいます）に入荷した時点での修理規定を適用します。
3. 当社は最新の修理規定を当社Webサイトにて公示するものとします。

第2条 修理の受付方法

1. 製品の修理依頼はすべてセンドバックでお受けします。センドバックとはリペアセンターに修理依頼品を送付いただき、修理を実施するサービスです。但し、購入時にオプションの「オンラインサービス」や「訪問部品交換サービス」に加入されている場合には、この限りではありません。
2. 修理を依頼される場合には、「保証書」と「レシートなど購入日を証明できるもの」及び詳細を記入した「修理/サポート依頼書」を修理依頼品に添付して、リペアセンターまで送付してください。「修理/サポート依頼書」は製品に添付のユーザーズマニュアル最終ページ及び当社のWebサイトからダウンロードすることができます。
3. 修理を依頼される場合には、本規定第9条のとおり、販売後に取り付けられたシールなどの装飾品やメディア類などの添付品は除いた状態で、修理依頼品をリペアセンターに送付してください。
4. 無償修理、有償修理の判断は、修理依頼品がリペアセンターに到着した日付と、修理依頼品の保証期間を照らし合わせて判断するものとします。
5. 修理依頼品をリペアセンターに送付される場合には、お客様の元払いにて送付してください。但し、保証期間の起算日から14日以内に修理依頼品を送付される場合には、当社の着払いにて送付いただくことができます。
6. 見積書の発行後に修理をキャンセルされる場合には、別途検査費用及び送料を申し受けます。検査費用及び送料をお支払いいただいた後に修理依頼品を返却させていただきます。

第3条 無償修理

1. 保証規定に定める保証期間内にリペアセンターに到着した修理依頼品であり、当社製品に添付されているすべてのマニュアル及びその他の注意書きに従い、適切に使用されている場合において、無償での修理を提供します。
2. 修理に要する時間は、修理依頼品がリペアセンターに受け入れされた後、7～14営業日を目安とします。但し、第6条に該当する場合はこの限りではありません。
3. 修理の際に交換した障害部品の所有権は当社に移譲するものとします。但し、「ハードディスク返却サービス」にご加入いただいている場合のハードディスクの所有権については、この限りではありません。
4. 下記項目に該当する場合には、保証期間内であっても有償修理となります。
 - (1) 保証規定の「使用環境について」に合致しない環境で使用された場合。
 - (2) シリアルシールが剥がされていて、リペアセンターで当該製品の情報が確認できない場合。
 - (3) 湿気、磁気、静電気など、使用時、運搬時の取扱不備による障害である場合。
 - (4) 保証対象外のソフトウェア、ウイルス、スパイウェアなどによる障害である場合。
 - (5) お客様が増設あるいは変更された部品などが原因の障害である場合。
 - (6) 修理の際に交換した障害部品を、お客様の要望によりお客様へ提供する場合。

第4条 有償修理

1. 保証期間を満了した後、製品に障害が発生した場合は、有償で修理を提供します。但

- し、第8条に抵触する場合には修理をお断りする場合があります。
2. 有償修理の場合、修理依頼品がリペアセンターに受け入れられた後、7~14営業日を目安として見積書を発行させていただきます。但し、第6条に該当する場合はこの限りではありません。
 3. 修理で発生する修理費用は、見積書の発行をもって回答とします。修理の過程で提示させていただく場合のある概算金額とは異なる場合があります。
 4. 見積書の発行後、14営業日を経過してもご回答がない場合、あるいは見積内容に同意いただけない場合には、修理キャンセルをご希望されたものとみなし、検査費用及び送料を別途申し受けます。
 5. 修理完了時の当社出荷日から起算して3ヶ月以内の修理依頼については、直前の修理と同じ部品の修理に限り、無償修理とさせていただきます。
 6. お支払いいただいた修理代金は、いかなる場合にも返金いたしかねます。

第5条 修理全般

1. 修理で使用する部品は、製品購入時の部品と異なる場合があります。
2. 修理はユニット交換となり、各ユニットに搭載される部品を個別に修理するものではありません。
3. 当社出荷後にインストールされたアプリケーションや作成されたデータなどのソフトウェア類は、保存されている媒体を問わず、いかなる場合でも保証しません。修理の際に消去する場合もあります。
4. フロントエリアカスタマーセンターにお問い合わせいただいた際の予測診断と、リペアセンターで製品を確認させていただいた後の診断内容は異なる場合があります。
5. 液晶モニターなど一部の製品は、当社でお預かりした後、製造元に転送しての修理となります。修理に要する期間や有償修理時の修理費用も、製造元及び障害内容によって変わります。
6. 修理依頼品をリペアセンターでお預かりした後に、当社以外で増設された部品が修理依頼品に組み込まれていることが確認された場合には、当該部品の動作確認は行いません。また、増設された部品は取り外して返却させていただく場合があります。
7. 電源装置や基板類など、パソコンの動作に必要な部品が変更されている場合、当該部品を当社が指定する部品に変更します。その際の部品代や交換費用は保証期間の内外及び、故障内容に関わらず有償となります。
8. 修理の過程で、OSの再インストールが必要になった場合、当社は当社が定めるOSをインストールします。お客様がアップグレードあるいはダウングレードされたOSのインストールは行いません。また、OS無しモデルの場合、ハードディスクは領域解放した状態で返却させていただきます。
9. OS無しモデルの動作確認は、当社が定めるOSを使用して行います。お客様がインストールされた環境での検査は行いません。また、検査ツールの公開も行いません。
10. 修理が完了し返却させていただいた修理依頼品に欠品が確認された場合、修理依頼品の当社発送日から14日以内に、フロントエリアリペアセンターまでご連絡ください。お預かりした際の状態及び、欠品物の調査を行います。当社発送日から14日間を経過した後にご連絡をいただいた場合、当社では一切の責任を負いません。この場合の欠品とは、修理依頼品に添付されていたものが、修理が完了し返却された時点で、所在不

- 明となっているものを指しますが、第9条に該当する物品は除外します。
1. 理由を問わず、修理依頼品をお客様が受け取ることができない場合や、一切の連絡が取れない場合、当社は当該修理依頼品を3ヶ月間保管しますが、3ヶ月を経過した後は、お客様が当社にお送りいただいた物品一式の権利を放棄されたものと見なし、当社にて処分いたします。
 - 1.2. 当社規定による修理報告書以上の検査及び故障原因の調査は行いません。また、お客様が第三者機関に調査を依頼された場合の費用、直接的又は間接的な損害も一切の責任を負いません。
 - 1.3. 修理期間中の代替パソコンの貸出サービスは行っておりません。

第6条 遅延について

以下の場合には、修理期間や見積提示などの目安となる期間以上の時間を要する場合があります。

1. 障害状況の確認や修理方針についての相談など、修理中にお客様への連絡が必要となる場合。
2. 修理もしくは障害の回復に要する部品の手配に時間がかかる場合。
3. OEM製品など、修理依頼品をリペアセンター以外での修理が必要な場合。
4. 障害及び改善状況の検証に時間をかける必要があるとリペアセンターで判断した場合。

第7条 アップグレードサービス

1. 製品によっては、製品を構成する部品をアップグレードするサービスを提供することが可能です。製品によってアップグレード可能な部品は異なりますので、詳細はリペアセンターまでお問い合わせください。
2. アップグレードサービスは保証期間の内外にかかわらず有償となります。
3. リペアセンターから連絡させていただく概算金額は、製品を確認した後に発行する正式な見積書とは内容が異なる場合があります。
4. 取り外した部品は、アップグレードのご依頼品と同梱して返却させていただきます。

第8条 修理をお断りする場合

以下の場合には、修理依頼品を受け取らない場合や、修理不能と判断し、有償で後継品を提案させていただく場合があります。

1. リペアセンターに修理依頼品が到着した際に、梱包箱の破損や緩衝材不足などにより、修理依頼品に著しい破損が確認された場合。
2. 修理依頼品に昆虫の侵入や異物の付着などがあり、構成部品の多数が動作保証できないとリペアセンターで判断した場合。
3. 修理依頼品の構成が当社販売時より著しく変更されている場合。
4. 修理依頼品が海外から発送されている場合の受け取り及び修理完了品を海外に発送することを希望されている場合。
5. 修理依頼品に増設された部品や、変更された部品に起因して障害が発生した場合。
6. 保証規定の「免責事項」に抵触する場合。
7. 当社が販売した物品であることが特定できない場合。

8. 理由を問わず、リペアセンターが修理に必要な部品を手配できない場合。

第9条 免責事項

1. 修理依頼品に貼り付けられたシール等装飾品及び塗装や刻印などにつきましては、当社では一切の責任を負いかねます。これらの装飾品類は取り外した後に修理をご依頼ください。また、修理の際、これらの装飾品を必要に応じて加工する場合や、取り外して販売時の状態で返却させていただく場合があります。
2. 修理に必要な無いメディア類（フロッピーディスク、CD-ROM、DVD-ROM、MO、SDカード、メモリースティックなど）、B-CASカードなどのカード類、PCカード類、USB 機器、外部接続ケーブルなどの添付品は、取り外した上で修理をご依頼ください。なお、これらが添付された状態で修理をご依頼いただいた場合、当社ではこれらについて一切の責任を負いません。

平成26年5月23日改訂

最新の規定は当社ホームページでご確認いただけます。

<http://www.frontier-direct.jp/support/>

FRONTIER